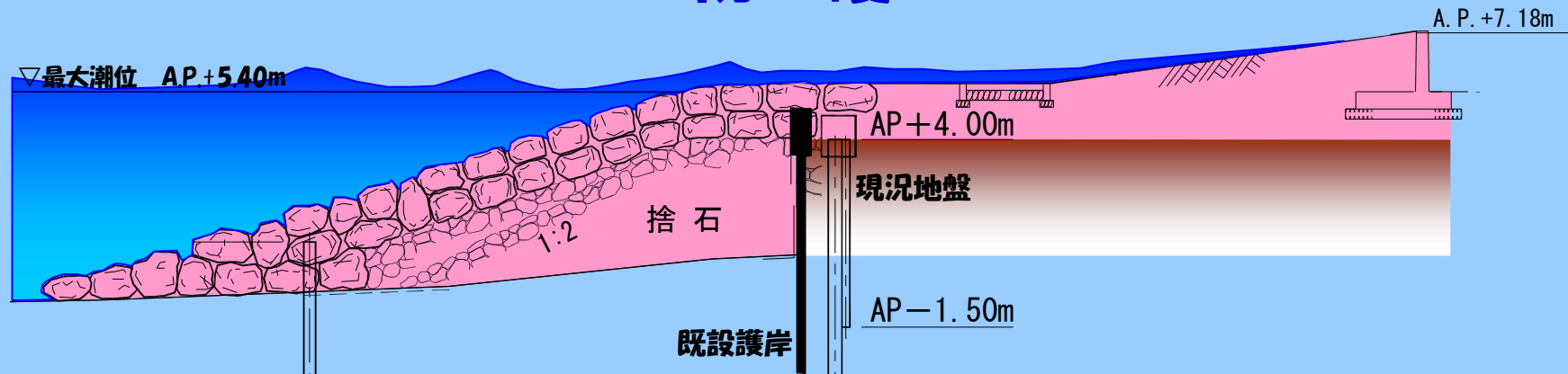


# 2丁目200m区間の施工初年度の 検証・評価

## < 防 護 >



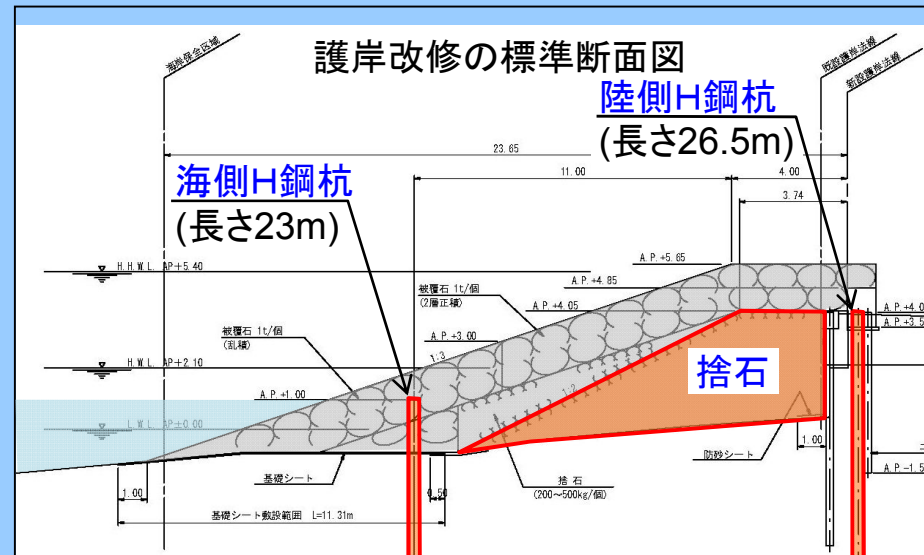
平成27年11月

# 1. 塩浜2丁目200m区間の工事の実施状況

塩浜2丁目護岸は、これまでに老朽化の著しい900m区間の護岸改修を先行して整備を進め、H25年度に完了した。

引き続き今年度（H27年度）より残された200m区間（実延長は183.4m）の護岸改修工事に着手した。

これまでに捨石工148m及び海側H鋼杭35mの施工を完了し、現在は陸側H鋼杭35m区間を施工中である。



今年度  
施工箇所

# 現地施工状況写真(今年度海域工事完了時)

塩浜3丁目側から2丁目側を望む



塩浜2丁目側から3丁目側を望む



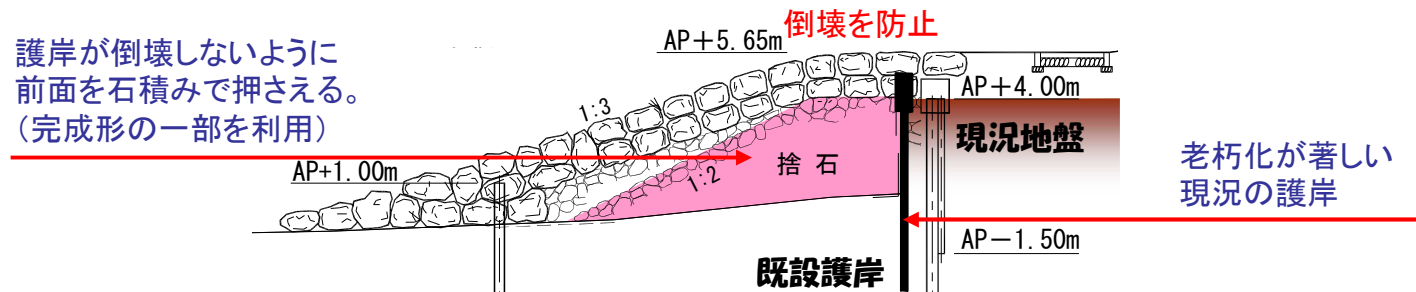
捨石工148m(H27年5月～7月施工)  
海側H鋼杭35m(H27年8月施工)  
陸側H鋼杭35m(施工中)

## 2. 地域の“防護”に関する検証・評価

### (1) “防護”に対する4つの指標

① “緊急対応”への指標 : 既設護岸の補強に必要な石積が確保されたか。

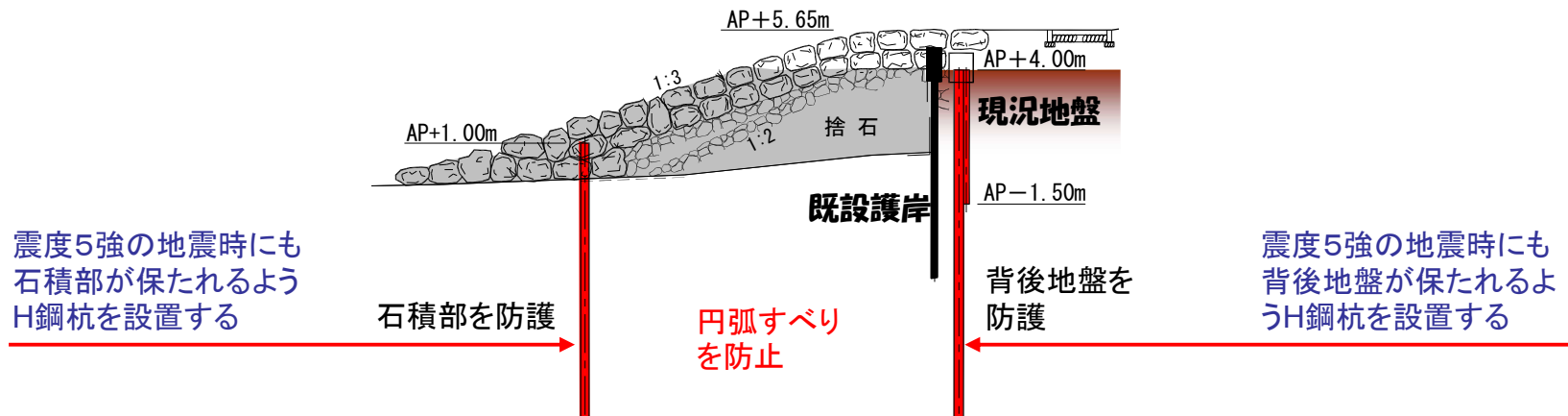
◇老朽化した現在の護岸の倒壊防止を図る。



② “耐震”への指標 : H鋼杭(海側、陸側)が打設されたか。

◇震度5強の地震時にも石積部が保たれるようH鋼杭を設置する。

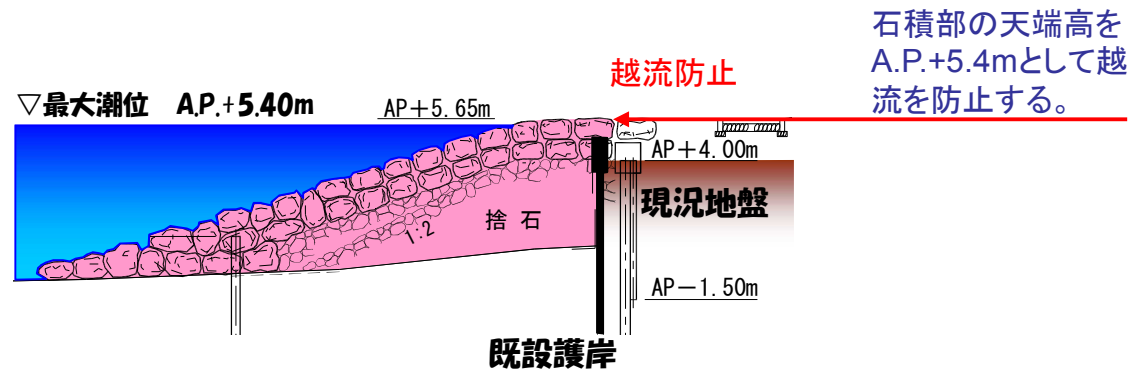
◇ “ ” 背後地盤が “ ” 。



### ③ 最大潮位での”越流防止”への指標

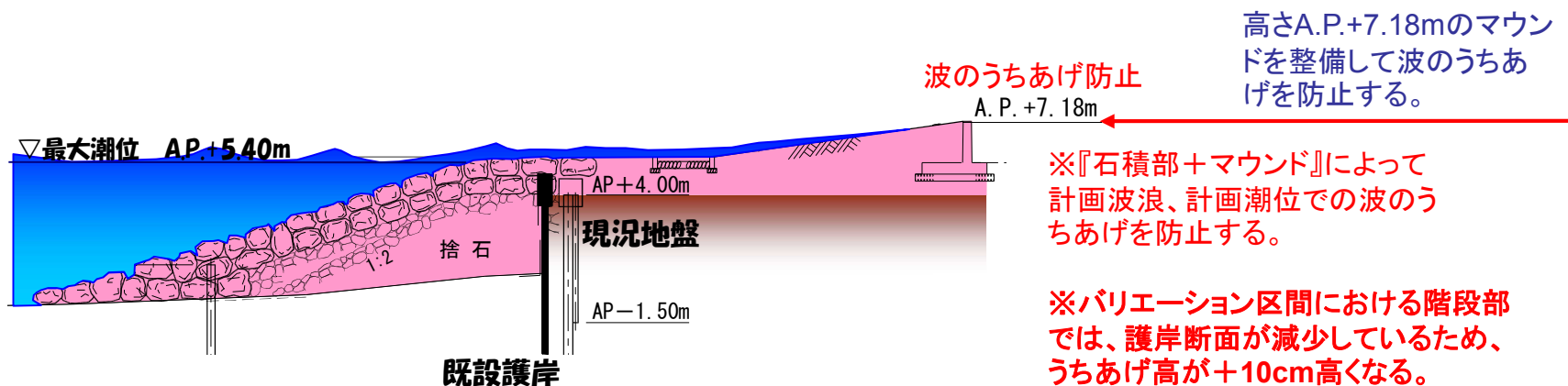
: 石積堤の高さがA.P.+5.4mに達しているか。

◇A.P.+5.4mに達する最大潮位でも越流しない高さの護岸とする。



### ④ ”高潮災害防止”への指標 : 背後地のマウンド高さがA.P.+7.18mに達しているか。

◇高潮時にも波が背後地に及ばないようA.P.+7.18mの高さのマウンドを護岸背後に整備する。



## (2) 検証基準

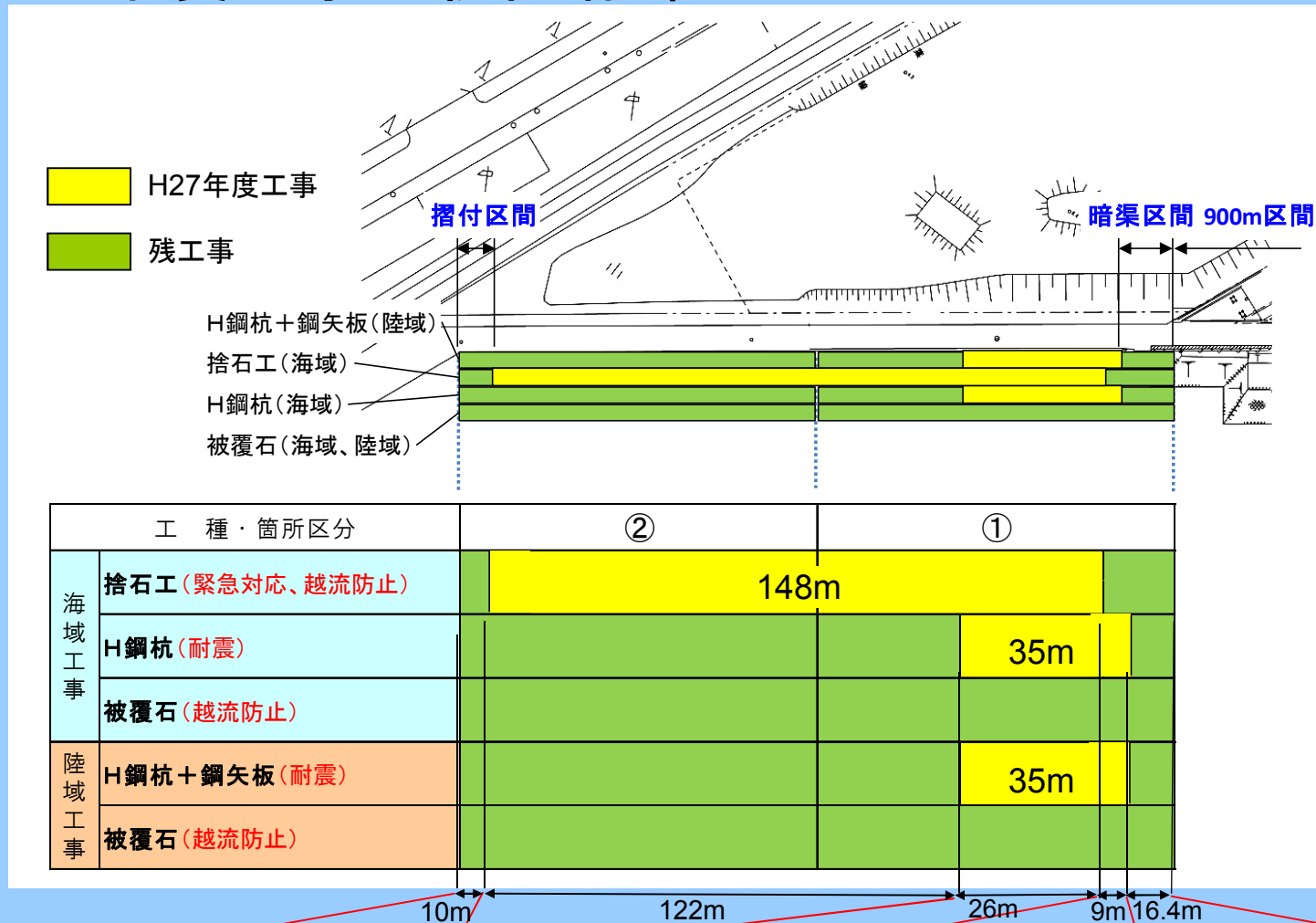
### 目標達成基準

高潮等の災害から背後地の安全を早期に確保すること。

検証項目	目標達成時期	検証場所	基準とする値
防護の確保状況	平成29年度 ※完成目標年度	塩浜2丁目 (200m区間)	地域の防護に対する4つ指標がそれぞれ施工延長200mにわたって、 ①緊急対応への指標 100% ②耐震の指標 100% ③越流防止への指標 100% ④高潮災害防止への指標 — を確保すること。

注)④のA.P.+7.18mまでの背後地の高さの確保は、背後地のまちづくりと調整中であるため、数値目標は設定しない。

### (3) H27年度工事の検証結果



	実績	状況	実績	状況	実績	状況	実績	状況	実績	状況
①緊急対応(捨石工)	無し	0.0%	有り	100.0%	有り	100.0%	無し	0.0%	有り	0.0%
②耐震(H鋼杭:海陸)	無し	0.0%	無し	0.0%	有り	100.0%	有り	100.0%	無し	0.0%
③越流防止(+5.4m)	無し	0.0%	4.0m	74.1%	4.0m	74.1%	無し	0.0%	無し	0.0%
④高潮災害防止(+7.18m)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※上表の①~④の検証については、(区間ごとの進捗率) × (区間延長 / 全体延長) の合計で算出する。

## (4) H27年度工事の検証結果(指標ごと)

① **”緊急対応”への指標** : 既設護岸の補強に必要な石積が確保されたか。  
◇老朽化した現在の護岸の倒壊防止を図る。 ⇒ 81/100



② **”耐震”への指標** : H鋼杭(海側、陸側)が打設されたか。  
◇震度5強の地震時にも石積部が保たれるようH鋼杭を設置する。  
◇ “ “ 背後地盤が “ “ 。  
⇒ 19/100(予定)

③ **最大潮位での”越流防止”への指標** : 石積堤の高さがA.P.+5.4mに達しているか。  
◇A.P.+5.4mに達する最大潮位でも越流しない高さの護岸とする。  
⇒ 60/100

④ **”高潮災害防止”への指標** : 背後地のマウンド高さがA.P.+7.18mに達しているか。  
◇高潮時にも波が背後地に及ばないようA.P.+7.18mの高さのマウンドを護岸背後に整備する。 ⇒ 背後地と調整中



## (5) H27年度工事による防護の評価

<b>目標達成 基準</b>	高潮等の災害から背後地の安全を早期に確保すること。
	
<b>検証結果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① "緊急対応"への指標 ⇒ 81/100</li> <li>② "耐震"への指標 ⇒ 19/100予定</li> <li>③ 最大潮位での"越流防止"への指標 ⇒ 60/100</li> <li>④ "高潮災害防止"への指標 ⇒ 背後地のまちづくりと調整</li> </ul>
	
<b>防護の 評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①"緊急対応"は塩浜3丁目側端部の摺り付け部、行徳湿地につながる暗渠部を除き、完了した。</li> <li>・②"耐震"については約2割の達成で早期対応が望まれるが、平成28年度には暗渠部を除き完了する見込みである。</li> <li>・③"越流防止"は6割の達成状況であり、平成29年度末まで被覆石を施工し、達成する見込みである。</li> <li>・④"高潮災害防止"への指標については、後背地のまちづくり計画との調整を進め、高潮災害に対する安全確保を図る。</li> <li>・以上より、引き続き暗渠部の処理方法について調整を図り、未施工区間を解消して①～③の指標への対応を進め、併せて背後地のまちづくり計画との調整を行い④高潮災害防止への対応を進めて、地域の防護を早期に図る。</li> </ul>